

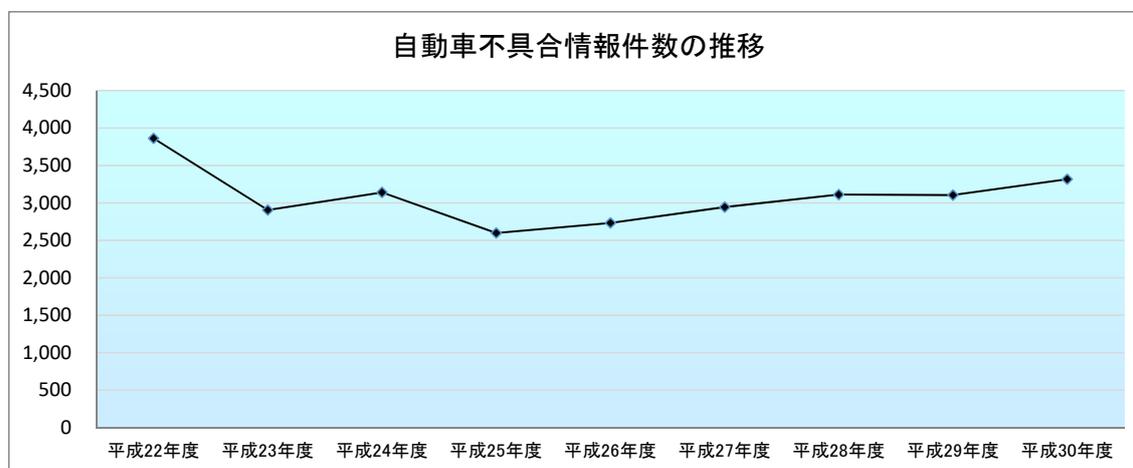
平成30年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rcl/hotline.html>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成30年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

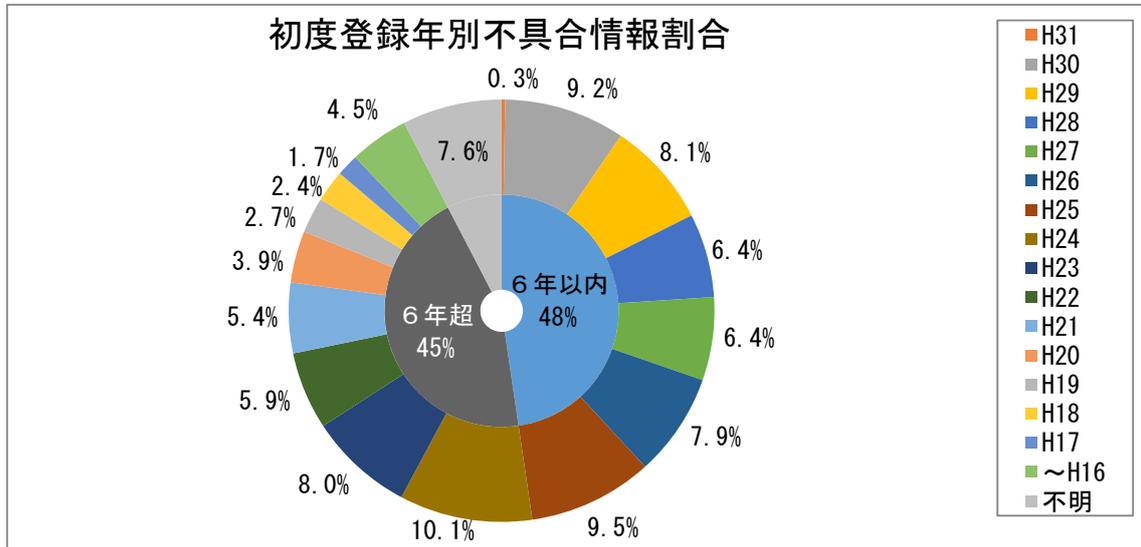
1. 平成30年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は6,781件であり、そのうち有効な自動車不具合情報件数は3,317件であった。

件数の推移をみると、平成21年、22年におこった北米でのトヨタの大規模リコール騒動を背景として、寄せられた不具合情報件数のピークが平成22年度にあったが、その後は減少して年間3,000件前後で推移しており、近年では横ばいあるいはやや微増傾向にある。



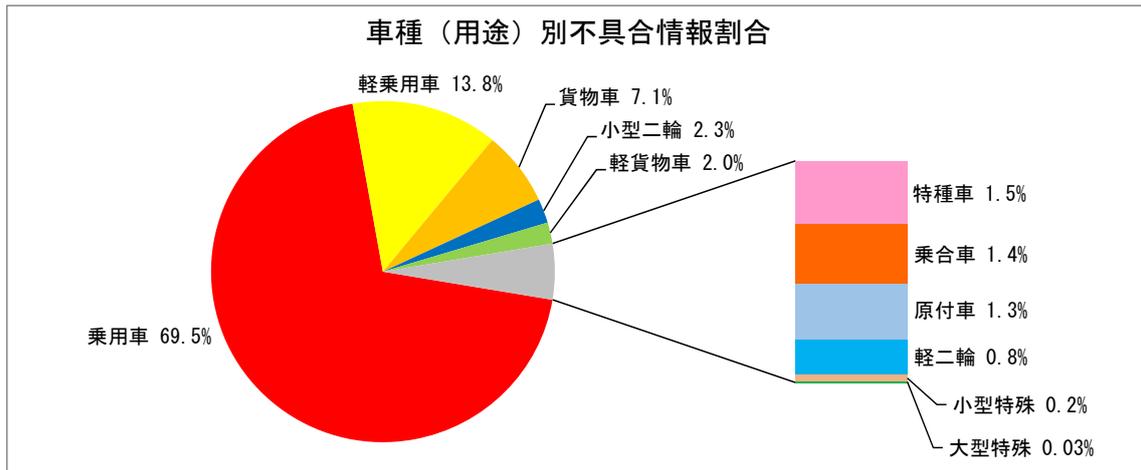
年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	3,862	2,906	3,141	2,597	2,733	2,943	3,110	3,105	3,317

2. 初度登録年別（軽自動車にあっては初度検査年。以下同じ。）の不具合件数は、初度登録年が平成24年の自動車は335件で全体の10.1%と最も多く、次いで平成25年の自動車は314件(9.5%)となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年以内の件数が若干多くなっている。



初度登録年	H31	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	～H16	不明	合計
件数	9	305	268	213	211	262	314	335	266	197	179	131	91	80	56	149	251	3,317

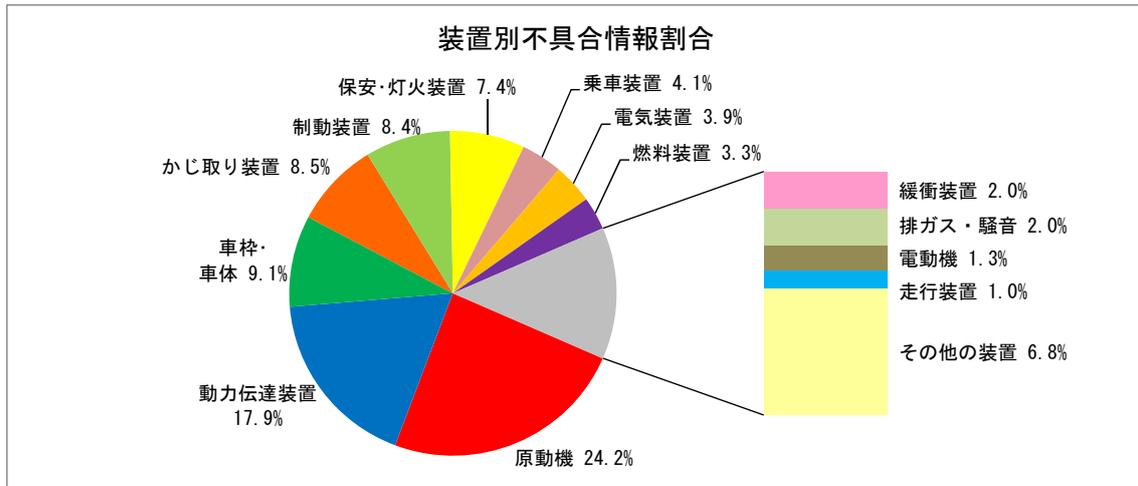
3. 車種（用途）別の不具合情報件数は、「乗用車」が2,306件で全体の69.5%と最も多く、次いで「軽乗用車」が458件(13.8%)、貨物車が235件(7.1%)の順となっている。



車種(用途)	乗用車	軽乗用車	貨物車	小型二輪	軽貨物車	特種車	乗合車	原付車	軽二輪	小型特殊	大型特殊	合計
件数	2,306	458	235	76	67	50	47	44	28	5	1	3,317

4. 装置別の不具合情報件数は、「原動機」が802件で全体の24.2%と最も多く、次いで「動力伝達装置」が595件(17.9%)、「車枠・車体」が302件(9.1%)の順となっている。

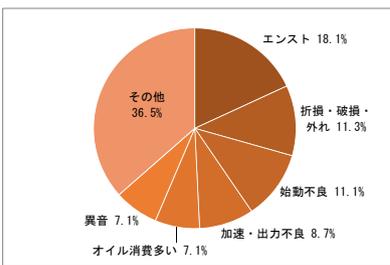
これら不具合情報件数の多い装置分類の上位3種について不具合事象をみると、原動機と動力伝達装置では、件数上位に「エンスト」「折損・破損・外れ」や「走行不能」「変速しない・シフト不能」といった走行安全性に関わる重大な事象が占めており、件数の中位には「オイル消費多い」「異音」や「変速ショック・振動」「異音」といった快適性・商品性に関わる事象が挙げられている傾向がみられる。車枠・車体では、安全性に直結する事象はあまりみられないが、「塗装不良」をはじめとした商品性に関わる不具合情報が数多く寄せられている。



装置	原動機	動力伝達装置	車枠・車体	かじり装置	制動装置	保安・灯火装置	乗車装置	電気装置	燃料装置	緩衝装置	排ガス・騒音	電動機	走行装置	その他の装置	合計
件数	802	595	302	282	280	245	136	131	109	67	66	44	32	226	3,317

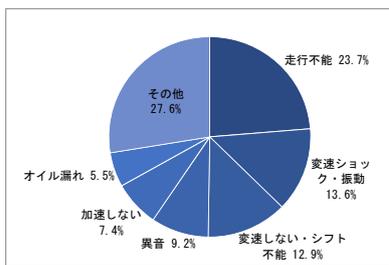
不具合の多い装置分類 上位3種

1. 原動機



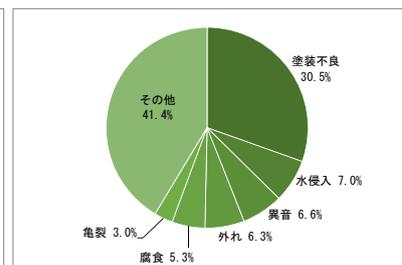
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	145
2	折損・破損・外れ	91
3	始動不良	89
4	加速・出力不良	70
5	オイル消費多い	57
5	異音	57
	その他	293
	合計	802

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	走行不能	141
2	変速ショック・振動	81
3	変速しない・シフト不能	77
4	異音	55
5	加速しない	44
6	オイル漏れ	33
	その他	164
	合計	595

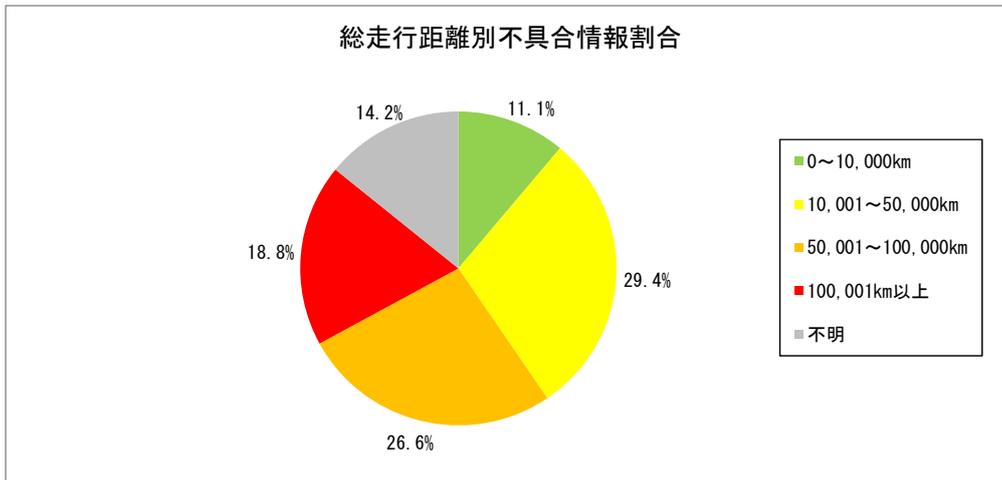
3. 車枠・車体



順位	不具合事象	件数
1	塗装不良	92
2	水侵入	21
3	異音	20
4	外れ	19
5	腐食	16
6	亀裂	9
	その他	125
	合計	302

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、「1万km超5万km以下」が974件で全体の29.4%と最も多く、次いで「5万km超10万km以下」が881件（26.6%）、「10万km超」が623件(18.8%)、「1万km以下」が369件(11.1%)の順となっている。

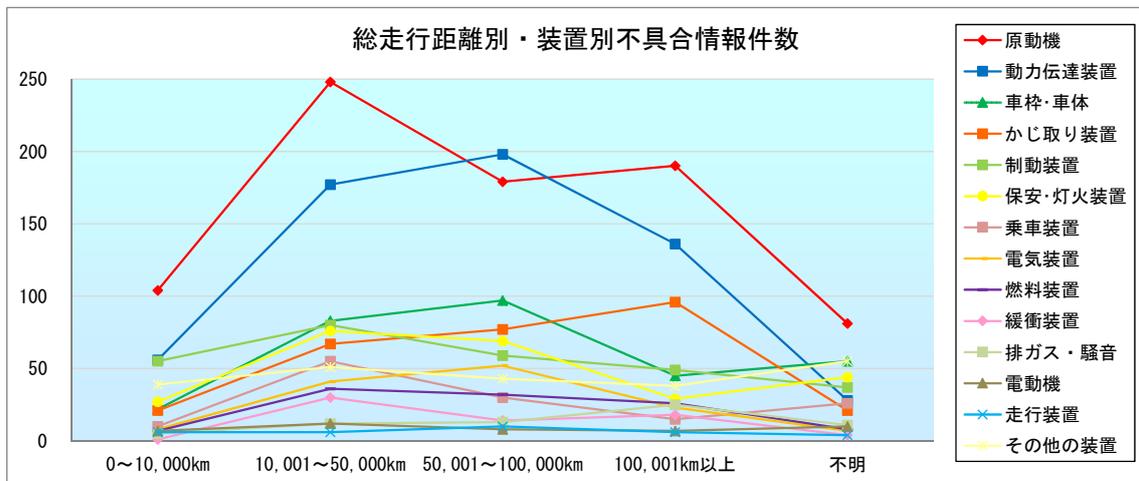
5万km以下と5万km超の不具合情報件数とを比較すると、後者の不具合情報が多く寄せられている。



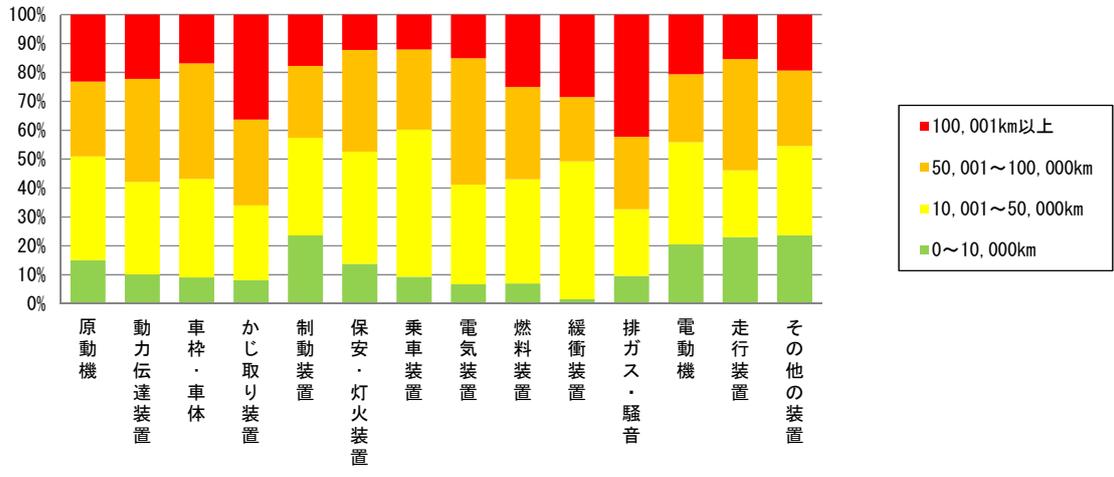
総走行距離	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	369	974	881	623	470	3,317

6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数をみると、装置別不具合件数上位2種について、「原動機」は1万km超5万km以下の不具合情報件数が最も多く、「動力伝達装置」は5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

不具合情報割合をみると、「制動装置」「乗車装置」は比較的総走行距離が少ない早期に不具合情報が挙げられる傾向がある。一方で、「かじ取り装置」「排ガス・騒音」は総走行距離が高くなってからの不具合情報が多い傾向がみられる。



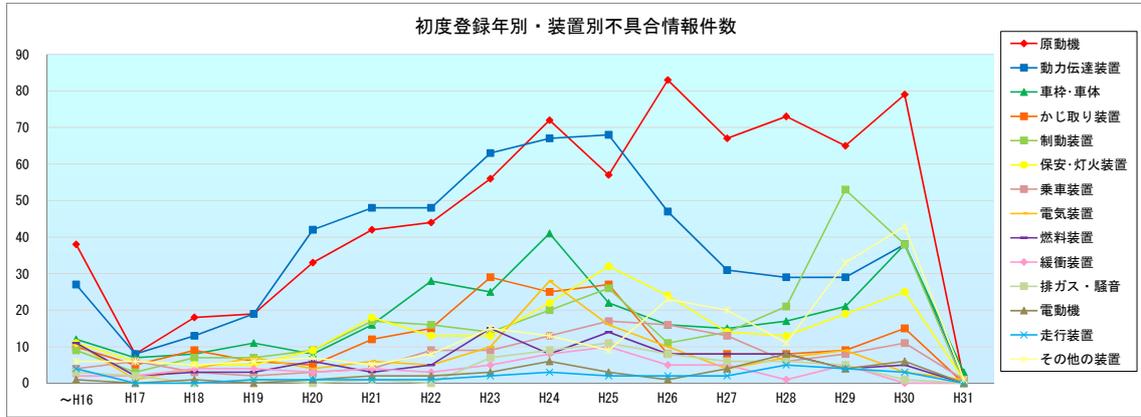
総走行距離別・装置別不具合割合



(件)

装置 \ 総走行距離	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	104	248	179	160	111	802
動力伝達装置	56	177	198	123	41	595
車枠・車体	22	83	97	41	59	302
かじ取り装置	21	67	77	94	23	282
制動装置	56	80	59	42	43	280
保安・灯火装置	27	76	69	24	49	245
乗車装置	10	55	30	13	28	136
電気装置	8	41	52	18	12	131
燃料装置	7	36	32	25	9	109
緩衝装置	1	30	14	18	4	67
排ガス・騒音	5	12	13	22	14	66
電動機	7	12	8	7	10	44
走行装置	6	6	10	4	6	32
その他の装置	39	51	43	32	61	226
合計	369	974	881	623	470	3,317

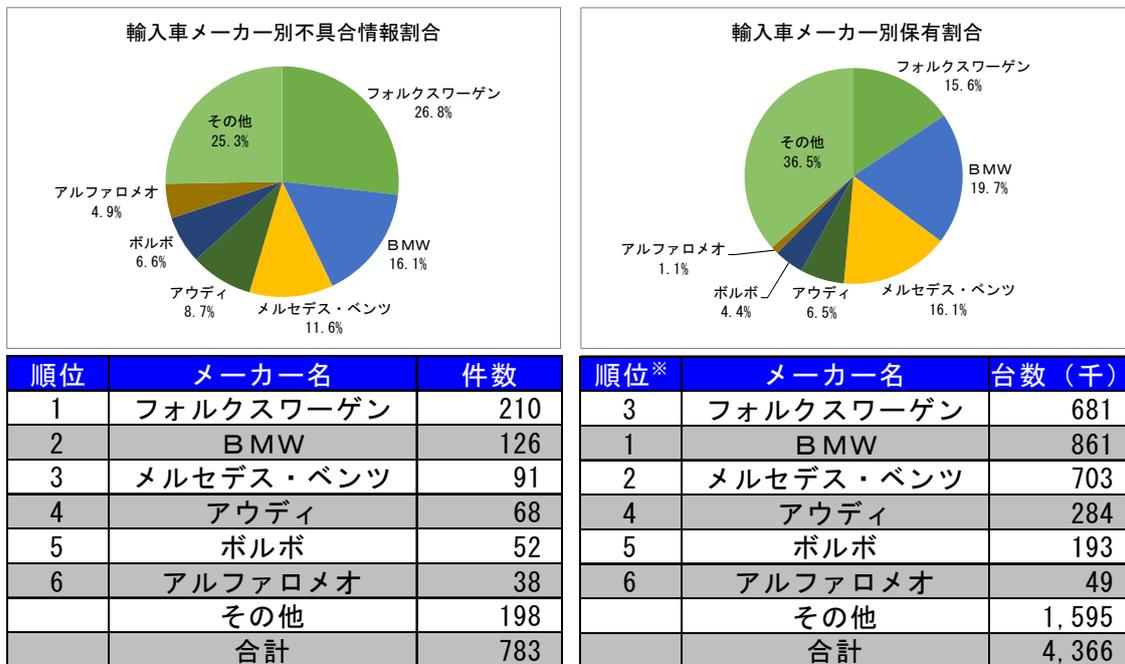
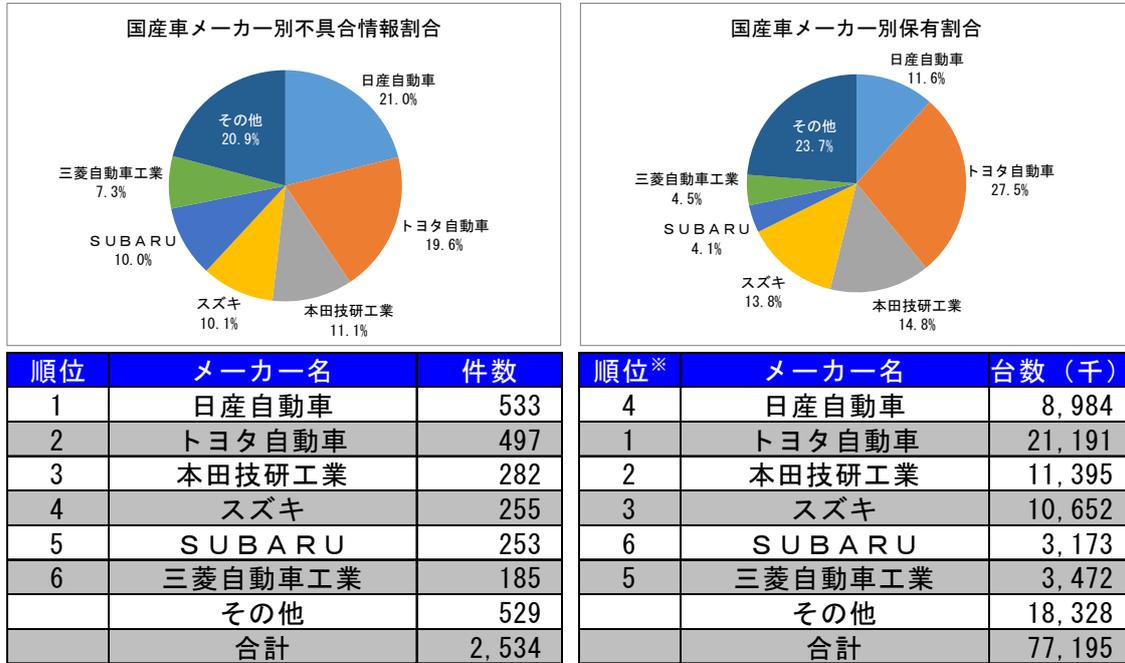
7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数をみると、全体として初度登録H24、25、26年あたりの件数が多くなっているが、「原動機」や「車枠・車体」は初度登録H30年、「制動装置」は初度登録H29年にピークがあり、他の装置種別と比べて早期に不具合情報が挙がってくる傾向がみられる。



(件)

初度登録年 装置	~H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	不明	合計
原動機	38	8	18	19	33	42	44	56	72	57	83	67	73	65	79	1	47	802
動力伝達装置	27	8	13	19	42	48	48	63	67	68	47	31	29	29	38	1	17	595
車枠・車体	12	7	8	11	8	16	28	25	41	22	16	15	17	21	38	3	14	302
かじ取り装置	10	5	9	6	5	12	15	29	25	27	8	8	8	9	15	0	91	282
制動装置	9	3	7	7	9	17	16	14	20	26	11	14	21	53	38	0	15	280
保安・灯火装置	11	6	5	5	9	18	13	13	22	32	24	14	13	19	25	1	15	245
乗車装置	4	6	3	2	3	4	9	9	13	17	16	13	6	8	11	1	11	136
電気装置	11	1	4	7	4	6	5	10	28	16	10	4	7	9	3	1	5	131
燃料装置	11	2	3	3	6	3	5	15	8	14	8	8	8	4	5	0	6	109
緩衝装置	2	2	4	4	3	4	3	5	8	10	5	5	1	5	0	0	6	67
排ガス・騒音	3	2	0	1	0	1	0	7	9	11	8	6	6	5	1	0	6	66
電動機	1	0	1	0	1	2	2	3	6	3	1	4	8	4	6	0	2	44
走行装置	4	0	0	1	1	1	1	2	3	2	2	2	5	4	3	0	1	32
その他の装置	6	6	5	6	7	5	8	15	13	9	23	20	11	33	43	1	15	226
合計	149	56	80	91	131	179	197	266	335	314	262	211	213	268	305	9	251	3,317

8. メーカー別の不具合情報件数をみると、国産車メーカーでは日産自動車が533件で全体の21.0%と最も多く、次いでトヨタ自動車が497件（19.6%）、本田技研工業が282件（11.1%）の順となっている。また、輸入車メーカーではフォルクスワーゲンが210件で全体の26.8%と最も多く、次いでBMWが126件（16.1%）、メルセデス・ベンツが91件（11.6%）の順となっている。



注：メーカー別保有台数は、平成30年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。

※ メーカー別保有割合の順位は、不具合件数上位6社において順位付けしたもの。全社での保有台数上位6社を示したものではない。